



令和6年12月20日
統合幕僚監部

(お知らせ)

中国海軍艦艇の動向について

令和6年12月19日(木)午後2時頃、海上自衛隊は、種子島(鹿児島県)の北東約50kmの海域において、同海域を西進する中国海軍ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦(艦番号「121」)、ジャンカイⅡ級フリゲート2隻(艦番号「539」「579」)及びフチ級補給艦(艦番号「902」)の計4隻を確認した。

その後、19日(木)から20日(金)にかけて、これらの艦艇が大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行したことを確認した。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊呉警備隊所属「げんかい」(佐伯)及び第1航空群所属「P-1」(鹿屋)により、警戒監視・情報収集を行った。

ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦（艦番号「121」）



ジャンカイⅡ級フリゲート（艦番号「539」）



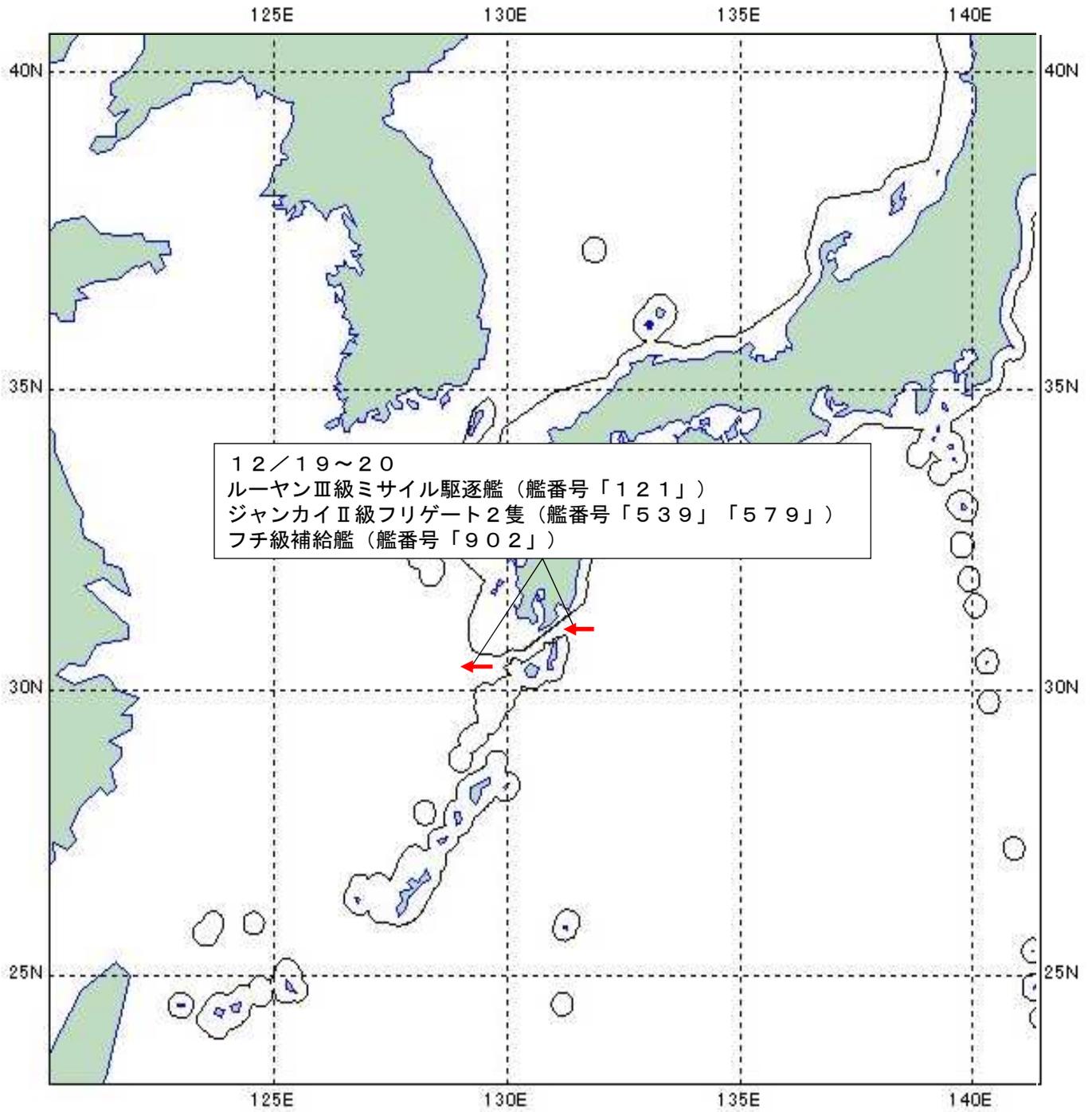
ジャンカイⅡ級フリゲート（艦番号「579」）



フチ級補給艦（艦番号「902」）



行動概要



→ : 中国海軍艦艇